令和4年度 第12回理事会

日 時:令和5年3月10日(金)16:00~

場 所:森林総合研究所特別会議室(つくば市)

I. 議 題

- 1. 令和5年度計画の届出について(非公表) [総合調整室]
- 2. 組織及び事務分掌規程の一部改正について(案) [総務課]

Ⅱ. 報 告

- 1. 令和5年4月期新規採用の内定状況について(非公表) [総務課]
- 2. 令和4年度に開発した優良品種について「林木育種センター」
- 3. 令和4年度における林木遺伝子銀行110番の実施状況について「林木育種センター]
- 4. 森林整備センターの業務運営について(課題と対応方針)(非公表)[森林整備センター]
- 5. 令和5年度における森林整備センターの職員採用について(非公表) [森林整備センター]
- 6. 令和4年度森林保険審査の第三者委員会審査概要について [森林保険センター]
- 7. 令和4年度第2回森林保険センター統合リスク管理委員会審議概要(非公表)
 [森林保険センター]

Ⅲ. その他

- 1. 今後の行事予定について
- 2. 主要行事
- 3. 令和5年2月に森林総合研究所が広報した研究成果

理事会資料

組織及び事務分掌規程の一部改正について(案)

1. 総務部総務調整監の新設

(1) 改正理由

森林総合研究所総務部は、労務管理主幹、総務課、職員課、経理課、調達課、資産管理課、管理課及び管理主幹の各担当課及び役職を置き、労務管理、文書管理、人事、服務、安全衛生、給与、予算、経理、契約、物品管理、施設管理、不動産管理等の業務を行っている。

多岐にわたる総務部業務の総括を総務部長が行っているところであるが、 総務部各課への業務の調整や指示、他の部・科・室との業務運営上の調整、 各センターとの機構運営上の連絡調整など、様々な事案について、適切に対 応することが求められている。

これらの業務に加え、令和4年度に入って、研究所等全体に関わるものとして、特に以下の業務が急増しており、早急に対応せざるを得ない状況となっている。

- ① 定年年齢引き上げ等に伴う一般職員の業務・配置の検討 令和5年度から定年年齢の段階的引き上げ等の制度を導入することとなったことから、他部門との調整を含め、一般職員における定年年齢の引き上げ者とそれ以外の職員の業務配分や的確な人事管理及び将来に向けて年齢バランスにも配慮した計画的な人事管理方策の検討。
- ② 事務・業務の大幅な見直し(働き方改革への対応) これまで、人事・給与システム、文書管理システム、財務会計システム など、業務の電子化への取り組みを進めてきたところであるが、新たなデ ジタル技術を活用した変革(デジタルトランスフォーメーション)の導入 例なども踏まえ、他部門との調整を図りつつ、今後の各システムの更新の 検討や新たな電子化による効率的な事務・業務の体制への変革への取り組 み。
- ③ 施設の老朽化や光熱費高騰問題への対応

老朽化施設・設備への対応方策と併せて、前例のない光熱費の高騰を踏まえた省エネ、創エネを含めた抜本的かつ効率的な施設・設備の更新・改修を見込んだ中長期的な将来構想の検討など、他の部等に跨がる重要な業務調整。

このことから、他の部等に跨がる重要な業務調整やレベルの高い判断を要する業務に対応するため、総務部に総務調整監を設置し、総務部長の命を受けての総務部業務の整理、他の部等に跨がる業務の調整、今後増々重要となる各センターとの連絡調整などの業務を効率的に行うこととする。

(2)総務調整監設置に伴う振替財源 総務調整監のポストの振替は、労務管理主幹を財源とする。

2. 総務課総務管理主幹の設置

(1) 改正理由

これまで、労働組合との交渉及び連絡調整に関する業務などの労働組合対応については、総務部労務管理主幹及び総務課服務係が連携して対応してきたところであるが、総務課に総務管理主幹を設置し、服務係とより連携を密にすることにより、労働組合対応を行っていくこととする。

(2) 総務課総務管理主幹設置に伴う振替等

総務課総務管理主幹のポストの振替は、総務課課長補佐を財源とする。 総務管理主幹は、労働組合との交渉及び連絡調整に関する業務のほか、これまでの課長補佐の業務も担うこととなるが、服務係への一部業務分担する など、総務課内における業務整理を適切に行い、労働過重とならないように 対応する。

3. 規程新旧対照表及び組織図(案)

別紙のとおり。

4. 改正時期

令和5年4月1日

改 正 後

国立研究開発法人森林研究・整備機構組織及び事務分掌規程

平成13年4月1日 13森林総研第47号

最終改正 令和 年 月 日(4森林機構第

行

国立研究開発法人森林研究・整備機構組織及び事務分掌規程

平成13年4月1日 13森林総研第47号

最終改正 4.3.28 (3森林機構第1134号)

【略】

(総務部の内部組織)

- 第23条 総務部に、総務調整監1人、総務課、職員課、経理課、調達課、資産管理課、 管理課及び管理主幹1人を置く。
- 2 管理課及び管理主幹は、森林総合研究所林木育種センターに配置する。

(総務調整監)

第24条の2 総務調整監は、部長の命を受けて部の業務の整理及び他の部科(課)室に 第24条の2 労務管理主幹は、労働組合との交渉及び連絡調整に関する業務を行う。 跨がる業務の調整に関する業務を行う。

(総務課)

- 第25条 総務課は、法人等印の管守、人事、服務及び文書並びに労働組合との交渉及び 連絡調整に関する業務を行う。
- 2 総務課に、総務管理主幹1人、課長補佐1人、役員秘書役1人、人事評価専門役1人、 人事係、総務係、服務係、管理係及び文書係を置く。
- 3 総務管理主幹は、労働組合との交渉及び連絡調整並びに課長の命を受けて総務課の所 掌事務の全部又は一部を総括する。
- 4 課長補佐は を補佐し、総務課の所掌事務の全部又は一部を総括する。
- 5 役員秘書役は、理事長及び役員の秘書、法人等印の管守に関する業務を行う。
- 6 人事評価専門役は、人事評価、表彰及び叙勲に関する業務を行う。
- 7 人事係は、職員の任免、人事記録、非常勤職員の雇用及び賃金計算に関する業務並び 6 人事係は、職員の任免、人事記録、非常勤職員の雇用及び賃金計算に関する業務並び に他の係に属しない業務を行う。
- 8 総務係は、諸行事の企画運営及び総務、諸規程の整備、協定控除に関する業務及び他 7 総務係は、諸行事の企画運営及び総務、諸規程の整備、協定控除に関する業務及び他 の部課室に属しない業務を行う。
- 9 服務係は、服務、兼職、労働組合対応、苦情相談及び勤務管理に関する業務を行う。
- 10 管理係は、勤務時間管理に関する業務を行う。
- 11 文書係は、文書管理、郵便、情報公開に関する業務を行う。

【略】

附則 (令和 年 月 日 4 森林機構第 この規程は、令和5年4月1日から施行する。 【略】

(総務部の内部組織)

- 第23条 総務部に、労務管理主幹1人、総務課、職員課、経理課、調達課、資産管理課、 管理課及び管理主幹1人を置く。
- 2 管理課及び管理主幹は、森林総合研究所林木育種センターに配置する。

現

(労務管理主幹)

(総務課)

第25条 総務課は、法人等印の管守、人事、服務及び文書 に関する業務を行う。

- 2 総務課に 、課長補佐2人、役員秘書役1人、人事評価専門役1人、 人事係、総務係、服務係、管理係及び文書係を置く。
- 、課長 3 課長補佐は、総務課の所掌に関する人事・服務担当及び文書・秘書担当を置き、課長 を補佐し、それぞれの所掌事務の全部又は一部を総括する。
 - 4 役員秘書役は、理事長及び役員の秘書、法人等印の管守に関する業務を行う。
 - 5 人事評価専門役は、人事評価、表彰及び叙勲に関する業務を行う。
 - に他の係に属しない業務を行う。
 - の部課室に属しない業務を行う。
 - 8 服務係は、服務、兼職、労働組合対応、苦情相談及び勤務管理に関する業務を行う。
 - 9 管理係は、勤務時間管理に関する業務を行う。
 - 10 文書係は、文書管理、郵便、情報公開に関する業務を行う。

【略】

森林総合研究所総務部組織図新旧対照表 (案)

改 正 後	現 行
総務部	総務部

理 事 会 資 料 令和5年3月10日 林木育種センター

令和4年度に開発した優良品種について

林木育種センターでは、令和4年度に36品種を開発しました。今後、これらの普及を図っていきます。

品種の種別(樹種名及び種類)	育種基本区	品種数		
初期成長に優れた第二世代品種(スギ)	関東	5		
花粉症対策品種(無花粉スギ)	東北	3		
化切址刈泉中種(無化切みキ)	関東	3		
マツノザイセンチュウ抵抗性品種(アカマツ)	東北	4		
マファリイセンテュテ松机圧m種(アガマフ)	関西	7		
	東北	4		
マツノザイセンチュウ抵抗性品種(クロマツ)	関東	3		
	九州	7		
令和4年度開発実績数 合計				
※()書きは年度計画における開発目標数	(35)			
第 5 期中長期計画期間における開発実績数 令和 4 年度 3 ※()書きは計画期間全体の開発目標数	7 2 (1 5 0)			







左:初期成長に優れた第二世代品種 (F) スギ 林育 2-31

中:マツノザイセンチュウ抵抗性品種 鹿児島 (薩摩川内) クロマツ1号

右:花粉症対策品種 無花粉スギ品種 青森不稔38号

理 事 会 資 料 令和5年3月10日 林木育種センター

令和4年度における林木遺伝子銀行110番の実施状況について

1. 事業の概要

林木育種センターでは、林木遺伝資源の総合的な収集、管理、利用を目的とした林木ジーンバンク事業として、各地の天然記念物や巨樹・名木等の収集・保存を行うとともに、事業の一環として、要請により後継樹を増殖する取組である「林木遺伝子銀行 110 番」を行っています。

具体的には、学校等の機関、個人等が所有する文化的価値が高い樹木が高齢等により衰弱している場合などで、これらの機関等から当センターに同一の遺伝子を受け継いだ後継クローン苗木の増殖の要請がなされ、さし木やつぎ木等によりこれら後継クローンを増殖するものです。

増殖したクローン苗木は、所有者のもとへ里帰りし、地域のシンボル等として親しまれているところです。また、これらのクローン苗木は、当センターで林木遺伝資源として保存し、研究材料として活用します。

2. 現時点での里帰り状況

当事業は平成 15 年(2003 年)度から始まり、令和 3 年度末(2022 年 3 月末)時点で 241 件・303 点の里帰りを実施しており、令和 4 年度末までには 250 件程度となる見込みです。

3. 令和4年度の主な里帰り



「姥杉」の母樹 (秋田県大仙市)



「金剛ざくら」後継樹の引き渡し (奈良県御所市)

理事会資料 令和5年3月10日森林保険センター

令和4年度 森林保険審査の第三者委員会審査概要

1 概要

国立研究開発法人森林研究·整備機構が行う水源林造成事業の森林保険契約に係る 損害評価事務について、外部有識者により損害実地調査、損害の認定及び保険金の額 が妥当であるかについて審査を行った。

2 開催日時及び場所

日 時:令和5年2月16日(木)15:00~17:00

場 所:森林整備センター役員会議室

3 出席者

(委員)

東京農工大学大学院 農学研究院 准教授	白木	克繁
川村篤志法律事務所 弁護士	川村	篤志
(一社) 日本森林技術協会 森林保全第二グループ長	宮下	洋平
(オブザーバー)		
(国研)森林研究・整備機構 監事	鈴木	直子
(森林保険センター)		
森林保険センター 所長	吉永	俊郎
森林保険センター 保険業務部長	山﨑	準
(事務局)		
森林保険センター リスク管理室長	水井	一彦
森林保険センター 保険業務課長	田中	隆博

4 結果

- 委員の互選により白木克繁氏を委員長に選出した。
- 事務局より(ア)森林保険と水源林造成事業の概要、(イ)水源林造成事業の損害填補の状況及び事例について説明した。
- ・ 令和4年2月から令和5年1月までに水源林造成事業に対して保険金支払のあった 153 件のうち、支払件数の多い水害、干害、凍害の中から保険金支払額が最大のもの各1事例と、委員が選出した3事例の計6事例について審査を行った。

その結果、実地調査ならびに保険金の額等に関して指摘すべき問題点はなく、適正に処理されており妥当であるとされた。

令和5年3月理事会資料 国 立 研 究 開 発 法 人 森 林 研 究 ・ 整 備 機 構

今後の行事予定について

日付	研究	整備	保険	行 事 名 等	場所等	
3月7日	0			九州森林技術開発会議	九州森林管理局	
3月8日	0	0		東北国有林森林・林業技術協議会	東北森林管理局	
3月8日	0			研究成果発表シンポジウム「エリートツリー等 を活かす施業モデルとデジタルツールの開発」	東京大学 弥生講堂一条ホール (ハイブリッド開催)	
3月17日	0	0		北海道国有林森林・林業技術協議会	厚真町総合福祉センター及び 厚真町東和(分収造林契約地)	
3月22日	0			環境研究三所連絡会	多摩森林科学園	

会議等については、新型コロナウイルス感染拡大の状況により、時期および開催手法が変更となる場合がある。

主要行事(令和5年2月3日~令和5年3月9日)

月日	行事内容	出 席 者
2月3日(金)	【共】第11回理事会	理事長、各理事、森林保険センター所長、両監事
6日(月)	林野庁庁議	理事長
8日(水)	[育]育種成果発表会	育種事業・森林バイオ担当理事、法令遵守担当理事
8日(水)~ 10日(金)	【研】会計実地検査	
10日(金)	【研】国際連携推進委員会	研究担当理事
14日(火)	【研・育】森林総研等コンプライアンス推進委員会	企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事、育種事業・ 森林バイオ担当理事、法令遵守担当理事
"	【研】産学官民連携推進委員会・地域イノベーション推進委員会	研究担当理事
15日(水)	【保】森林保険センターコンプライアンス推進委員会	企画・総務・森林保険担当理事、法令遵守担当理事、森林保 険センター所長
16日(木)	【共】ダイバーシティ推進委員会	企画·総務森林保険担当理事、法令遵守担当理事
"	【保】森林保険審査の第三者委員会	森林保険センター所長
21日(火)	【育】育種運営会議	理事長、企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事、育 種事業・森林バイオ担当理事、法令遵守担当理事
22日(水)	【保】森林保険センター統合リスク管理委員会	企画・総務・森林保険担当理事、森林保険センター所長
"	【研・育】研究所等リスク管理委員会	研究担当理事、育種事業・森林バイオ担当理事
27日(月)	【研·育】入札監視委員会	企画·総務·森林保険担当理事
28日(火)	【研】化学物質等管理委員会	研究担当理事
3月2日(木)	【研·育】研究推進評価会議	理事長、企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事、育 種事業・森林バイオ担当理事、法令遵守担当理事・監事
3日(金)	【研·育】産学官民·国際連携推進本部会議	理事長、研究担当理事、育種事業·森林バイオ担当理事、監事
"	【研·育】研究企画·運営会議	理事長、企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事、育 種事業・森林バイオ担当理事・監事
6日(月)	林野庁庁議	理事長

令和5年3月理事会資料 森林研究・整備機構 森林総合研究所

令和5年2月に森林総合研究所が広報した研究成果

	広報タイトル	研究者 · 担当者名	掲載誌名	論文公開時期	備考
1	初期に間伐を繰り返したカラマツ林は120年経て も成長旺盛	^{サカイ アツシ} 酒井 敦 東北支所	日本森林学会誌 104巻(7)、374-379	2022年12月	
2	IPCCが改訂した脆弱性の概念は関連研究の中で未だ普及せず	エストケ・ロナルドカネーロ Ronald C. Estoque 生物多様性・気候変動 研究拠点	Ambio、52、376-389	2022年11月	
3	日本における外来リスの駆除に成功した5つの 要因	ハヤシ ノリコ 田村(林)典子 多摩森林科学園	Frontiers in Ecology and Evolution、10、Frontiers	2023年1月	
4	全国アンケートから市町村の森林行政担当者 の現状が明らかに	イシザキ リョウコ 石崎 涼子 林業経営・政策研究領域	日本森林学会誌 104巻4号、214-222	2022年8月	
5	豪雪地のスギ皆伐で増えた雪解け水、植栽後 30年で元の水量に	アベトシオ 阿部 俊夫 東北支所	日本森林学会誌 105巻1号、1-10	2023年2月	
6	国産トリュフを人工的に発生させることに成功し た	ヤマナカ タカシ 山中高史 東北支所	-	-	プレスリリース
7	わずかな広葉樹の大きな役割 一人工林内の広葉樹の保持は効率的に鳥類を 保全する-	ヤマウラユウイチ 山浦悠一 四国支所	Ecological Applications https://doi.org/10.1002/eap .2802	2022年12月	プレスリリース
8	スズメの子育て労働を巡る夫婦間での駆け引き の解明 ~つがい外父性と種内托卵は鳥類の複雑な繁 殖戦略を読み解く鍵~	アオキ゚ダイスケ 青木大輔 野生動物研究領域	Ornithological Science. https://doi.org/10.2326/osj. 22.45	2023年1月	プレスリリース
9	ツキノワグマの独り立ち ~子グマが出生地を離れる時期と距離を解明 ~	オオニシナオキ 大西尚樹 東北支所	Journal of Mammalogy オンライン版	2023年2月	プレスリリース
10	シカ個体数を減らすにはメスの捕獲が効果的	スズキ ケイ 鈴木 圭 九州支所	Biology https://doi.org/10.3390/biol ogy11111607	2022年11月	プレスリリース
11	シカは川沿いにやってきた!? 100年ぶりに茨城県南西部に出現したシカの由 来推定	ナガタ ジュンコ 永田純子 企画部	野生生物と社会 https://doi.org/10.20798/aw hswhs.10.0_63	2023年2月	プレスリリース
12	過去60年で世界の森林面積は日本列島2つ分 消失 一熱帯産林産物への依存の低減と低所得国の 能力強化が重要-	エストケ・ロナルド・カネーロ ESTOQUE Ronald Canero 生物多様性・気候変動 研究拠点	Environmental Research Letters https://doi.org/10.1088/174 8-9326/ac7df5	2022年8月	プレスリリース

(シンポジウム・イベント)

名称	担当	主催等	開催場所	開催日	備考
研究成果発表シンポジウム 「エリートツリー等を活か す施業モデルとデジタル ツールの開発」	コンソーシアムシンポ	成長に優れた苗木による施 業モデルコンソーシアム 森林総合研究所	東京大学 弥生講堂一条ホール (ハイブリッド開催)	3月8日(水) 13:00~16:40	

注)研究成果については、いずれも国立研究開発法人森林研究・整備機構中長期計画に定める重点課題等に対応するものである。